

# 令和5年度 学校評価報告書

学校名	ひまわり特別支援学校
-----	------------

## 1 学校教育目標

人との豊かなつながりの中で、一人一人の自立と社会参加を目指し、たくましく生きる力を育成する。

## 2 今年度の学校重点目標

- (1) 個に応じた教育課程の編成 (2) 交流及び共同学習の充実
- (3) キャリア教育、進路指導の充実 (4) 安全、安心な学校づくりの推進
- (5) 開かれた学校づくりの推進 (6) 三田市特別支援教育のセンター的機能の充実

## 3 総合的な自己評価

肢体不自由の特別支援学校として求められる専門性や指導力の向上を最優先課題として取り組んだ。コーディネーターを中心に授業研究やミニ研修会を実施してきた。徐々に指導力等が向上している。看護職員との協働体制が整ってきた。

## 4 総合的な学校関係者評価

コーディネーター配置することができ、校内支援体制を整えることができた。ニーズに合ったミニ研修会を開くなど、人材育成が行われている。授業時数を削減し、研修時間を確保できるように教育課程を見直していくことについて保護者からの理解を得ることができた。日頃の信頼関係の積み重ねがあったからである。

## 5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校経営	学校教育目標、各学部目標(望ましい児童生徒像)の実現を目指して、適切に教育活動を進めているか。	児童生徒一人一人の成長が認められる。	全職員が各職種の役割の理解を深め、周知し、指導にあたる。	教員と看護職員が連携、協働し、互いの役割を理解して業務に当たっている。
	開かれた学校づくりのための学校の情報が保護者や地域に積極的に発信され、お互いの信頼関係が構築されているか。	保護者懇談会において、保護者と意見交換できた。	保護者懇談会のさらなる充実を図る。	保護者との信頼関係をさらに深めてほしい。
教育課程・学習指導	個別の指導計画に基づいた教育課程が編成され、個に応じた教育活動が実施されているか。	指導期間を前・後期とし、継続的な指導が実施できた。	6校時授業とすることで、学部での共通理解する時間の確保を図る。	指導目標を保護者と共有することは大変重要なことである。
	自立活動を中心とした個に応じた適切な指導が全教育活動の中で行われているか。	自立活動の指導における専門性の向上が課題である。	自立活動について研修会を開いて教育課程への位置づけを共通理解し、専門性の向上を図る。	人事異動で入れ替わりが多いので、自立活動や教育課程についての理解を深めることは大切である。
保健管理	児童生徒の健康状態の把握による保健、安全、衛生管理が組織的に行われているか。	看護部、養護教諭、担任団との連携が高まった。	1学校2施設ということから、より一層の情報共有意識を高める。	報告、連絡、相談の重要性を共通理解し、安全衛生管理を行うことが重要である。
	医療的ケア実施要項に基づく医療的ケア実施に係る組織的な安全体制が整備され、実施されているか。	看護職員の配置が進み、必要人数が確保できた。	2施設での医療的ケア実施に戻ることと情報共有意識、危機意識を高める。	指示書に基づき、医療的ケアを実施するとともに、緊急時に対応できるよう訓練しておくことが重要である。
研究推進・資質向上	研究主題や実践目標の実現に向け、一人一人が主体的、積極的に研究を進めているか。	ミニ研修会を実施し、主体的に学ぶ機会が増えた。	下校後の研修機会を保障し、今後もその充実を図っていく。	研究体制は継続し、各々が主体的に研究に取り組むことが重要である。
	自らの資質向上のために研修に取り組み、日々の実践の分析・評価及び指導方法の工夫改善に努めているか。	研修会の案内等、情報提供を積極的に行う。	実践をPDCAサイクルで評価、改善していく。	チームで実践の分析等を行い、指導力の向上を図ることが大切である。